

事業所名

クオリティ・オブ・ライフ桜の郷支援教室

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

5 日

法人（事業所）理念		一人ひとりと向き合い、そのお子様が成長できる療育を目指します。地域と連携しハンディキャップを持った子どもたちも快適に過ごせる環境作りを目指し活動していきます。						
支援方針		社会で必要なコミュニケーション能力を育み、大人になってからも社会へ順応できるよう支援をしていきます。ダンスやサッカーを通して、集団で過ごす為の協調性や受容力を身に付けます。自己理解を深め長所を伸ばしていく支援をしていきます。様々な活動やものに触れていき、子どもたちの可能性を広げられるよう支援していきます。						
営業時間		平日 土曜・長期休暇	10 9 時	00 00 分から	19 18 時	00 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	楽しく安心して過ごせる環境を第一とし、お子様にとって教室が心の落ち着く場所になるよう支援しています。日常生活に必要な力が身に付くよう支援し、大人になってからの生活力を身に付けていきます。毎日の体調管理を徹底し、感染防止、安心して過ごせる教室作りをしています。教室、自宅、学校、外出先、様々な環境での生活への対応や過ごし方を保護者様や各機関と連携を図り、お子様のペースに合わせ、一人ひとりに合った支援をしています。						
	運動・感覚	ダンス、サッカー等のカリキュラムを行い、ダンスでは運動能力の向上、音に合わせてリズムを取り身体を動かす為、脳から身体への伝達能力を養っていきます。サッカーでは団体スポーツの為、一人の力だけでは難しい問題でも仲間とクリアできる達成感を養えます。また仲間の大切さ、皆で同じ目標に向かう気持ち、日常での集団生活に通じるものもあり、協調性を学べる為取り組んでいます。						
	認知・行動	主に感情概念への支援を行い、他者理解が学べるようにしています。まわりの人がどう思うか、どう感じるかを考えることを大事にしています。自分がされて嬉しいこと、自分がされて嫌なこと、まわりの人も自分が感じる感情と同じものを抱くと伝えていきます。まわりと上手に過ごす為にどのように接していくか、一人ひとりの個性を大事にしながら伝えていきます。						
	言語 コミュニケーション	感情のコントロールを育み、他者への受容力を持てるようにしています。又、適切な言語化、表現力が見に付くよう支援しています。どのような声のかけ方をしたらいいか、まわりとコミュニケーションを取るのが難しいお子様には一緒に考え伝えていきます。自分の気持ちを一方的に伝えていないか。受け取る側に考えを伝えられているか。相手とコミュニケーションを取るにあたり、その部分を大事にしています。						
	人間関係 社会性	集団生活を身に付け社会的スキルの向上を支援しています。感情や思う事を内に秘めず、表に出すことを大事にしています。その出し方や、表現の仕方を、まわりに受け入れてもらえる方法を一緒に考えサポートしています。その取り組みとして、ダンスやサッカーのように他者と関わる機会が多く、集団行動を学べるカリキュラムを行っています。そこで感じたものを、日常生活に落とし込み、より良い人間関係を築ける力を育てています。						
家族支援		児童の発達に関する相談、助言。家庭生活に関する相談、助言。お子様だけでなく、保護者様の心の悩みも大事に思っております。お子様に対する不安や悩みをお聞きし、より良い支援をできるよう努めています。			移行支援		事業所で支援し、身に付けた力を学校、家庭で同様の行動ができるよう支援を行う。不登校の児童には学校との緻密な連携を図り、学校支援を行う。	
地域支援・地域連携		年に一度公共施設で発表会を行い、地域の方との交流を行っております。また地域の方に畑をお借りし農作物作りの体験を行っています。			職員の質の向上		事業所内外研修を行い、職員の支援力向上する。また他施設を訪問し、どのような支援をしているか学ぶ機会を設けています。	
主な行事等		ダンス発表会、サッカー大会、夏祭り、外食体験、ボーリング大会、クリスマス会、豆まき、誕生日会(毎月実施)、調理実習(毎月実施)						